

収をくしらの後従弟松平山城守忠國

を頼らまじ丹波國笹山小配流せし家傳

一忠久寛文五年先以眾とありこれ同十年あり出三三にて
はうまのぬ今の侍書院番松平幸三郎忠鎮の祖なり

織部忠利は馬先忠頼より六田力なり寛永譜
家傳

武藏小生系傳寛永二年七月

台徳院殿と終寛永譜同二年四月より清

近習の役と勤し同年十二月俸米五百俵と

賜り寛永譜
家傳同三年十一月千石に加へ

賜ひ寛永譜同九年六月清書院番の列り

より翌年二月二百石に加増と賜ひ清日記
寛永譜

保正年正月清書院番に組頭小轉同

年十二月布衣と著しとる事とあり

慶安三年九月

嚴有院殿小附屬せしれ西坪小祇候清日記

記○忠利明暦三年死して
嗣ありしは久家絶なり